

平成 28 年度楠栖保育所事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 90 名

(2) 年齢別・月別入所児童数 (各初日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	8	9	11	11	12	11	14	15	16	16	16	17	156
1～2歳児	24	25	26	25	25	25	25	24	24	24	25	25	298
3歳児	11	11	11	11	11	10	11	11	11	11	11	11	131
4歳児以上	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504
計	85	87	90	89	90	88	92	93	93	93	94	95	1089

(3) 職員数 平成 28 年度初 21 名 平成 28 年度末 21 名

(4) 職員の異動等

①退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
H29.3.31	常非保育士		33	保育士資格	一身上の都合による

(5) 職員会議の開催状況

・職員会議は毎月 2 回以上開催し、保育に支障のない範囲で職員が参加し、各クラスの様子や日常の保育の内容の確認、気づき、行事等の打ち合わせ、反省を行い、今後の課題を話し合った。

特に今年度は、昨年苦情があった害虫に対しての環境を話し合い、除草、室内環境、蚊に刺された子どもに対する対応などを徹底した。

また、障害児の行事の参加の仕方、就学前の準備等を保護者を交えて職員全体で対応を把握するようにした。発達気になる子に対しては状況の報告、連携機関に相談し、保護者対応等を話し合った。

各研修に参加した職員は職員会議で研修報告を行い、内容を全体に知らせ、当園での取り入れ方、疑問点、などを話し合った。

・給食内容検討会 (月 1 回以上) を開き、月の献立、各クラスの嗜好や喫食状況を報告し合い、咀嚼が苦手な子、嚥下が上手に出来ない子の対応を検討した。結果を踏まえ、乳幼児の健全な発育、発達に必要な栄養を確保する様努めた。

2 保育の実施状況

保育課程及び月、週、個別の指導計画に基づき日々の保育を実施した。

保育所行事に関しては地域性を考慮して行い、保護者が参加しやすく、交流する場になるよう配慮して行った。地域の行事や敬老会、グループホームの慰問に和太鼓、遊戯、歌などで積極的に参加し地域の子としての役割を担った。また、食育として、地域の方の畑を借りて芋、大根、トウモロコシ等の苗植え、収穫、園庭の畑でも様々な野菜の生長の観察を行うことによって、ほとんどの子が野菜を好むようになった。誕生会ではおにぎり作りをして自分の食べるものは自分で作る体験を行った。

午睡時には 5 分ごとに呼気、触診、目視にて確認し、チェック表に記録を残して安全性を高めた。

特別な配慮を必要とする子どもについては、専任の職員を配置し、専門機関と連携を取りながら、情緒の安定、情報の共有を行い誰もが対応出来る体制に努めた。

アレルギー除去食の誤配、誤食防止のためにアレルギーチェック表にての確認、目視、声かけ確認
食器の色分けや専用トレーを使用して職員間の意識や安全性を高めることに努めた。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週指導回数）
幼児体育指導		毎週午前10時より 年間29回
漢字保育指導		年8回 午前9時30分より

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行事	実施年月日	行事
H28.4.1	進級・入所式	10.12	バスハイク（きららパーク）
4.20	防災訓練	10.13	10月誕生会
4.21	4月誕生会	10.18	内科健診
4.28	親子遠足	10.21	保育参観（1歳児）
5.6	バスハイク（相浦川鯉のぼり）	10.22	近隣中学校より吹奏楽部演奏会
5.9	検尿提出日	10.25	防災訓練
5.11	交通安全教室	10.28	芋掘り遠足
5.17	防犯訓練	11.10	11月誕生会
5.18	近隣小学校運動会総練習見学	11.13	地区文化祭参加
5.21	バスハイク（船祝い参加）	11.26	お遊戯会
5.25	保育参観（4歳児）	11.28	防災訓練
5.26	5月誕生会 防災訓練	12.1	バスハイク（電車体験）
6.1	バスハイク（皿山公園）	12.13	餅つき会（祖父母参観）
6.3	異文化交流（米兵さんと交流） 内科健診	12.14	総合防災訓練
6.9	バスハイク（森きらら）	12.15	12月誕生会
6.15	保育参観（5歳児）	12.20	クリスマス会（異文化交流）
6.16	バスハイク（市立図書館、四ヶ町アーケード）	12.22	矢岳徳ちゃんグループホーム慰問
6.17	6月誕生会	12.26	社協介護施設慰問（5歳児、4歳児）
6.23	歯科健診、防災訓練	H29.1.12	5ヵ園交流カルタ大会
7.2	芋苗遠足	1.19	1月誕生会
7.6	保育参観（3歳児） 相浦プール	1.20	楠栖カルタ大会
7.7	七夕会	1.25	保育参観（0歳児）
7.13	相浦プール	1.26	防災訓練
7.14	近隣小学校交流会	2.3	節分会

7.15	バスハイク（トウモロコシ収穫）	2.7	楠栖小学校交流会
7.21	7月誕生会	2.15	近隣小学校交流会
7.25	防災訓練	2.17	バスハイク（佐々図書館）
7.29	夏祭りごっこ	2.18	バスハイク（大根引き）
8.8	保育参観（2歳児）	2.21	防災訓練
8.19	防災訓練	2.22	交通安全教室
8.25	8月誕生会	2.23	2月誕生会
9.5	防災訓練	2.28	5カ園交流サッカー大会
9.9	9月誕生会	3.2	修学前遠足（パールシー）
9.17	保育所畑トウモロコシ収穫	3.3	ひな祭り、3月誕生会
9.18	楠泊敬老会、矢岳敬老会参加（年長）	3.6	縄跳び大会
9.24	運動会	3.9	マラソン大会
9.26	防災訓練	3.14	バスハイク（佐々川菜の花ロード）
9.27	交通安全教室	3.18	卒園式
10.6	検尿提出（3, 4, 5歳児）	3.28	防災訓練
10.7	ふれあい会（祖父母参観）	3.29	バスハイク（交通公園）

5 職務分担表（平成28年度最終版）

職名及び氏名	職務内容	
園長 渡邊 エミ子	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成)	4 財務管理 5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決
主任保育士	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導	5 園行事に関する計画及び指導 6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施 9 苦情受付
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 園児の健康と安全管理	5 調理員との連携 6 保護者との連絡及び指導 7 園だよりの作成
保育士	*すみれ組の担任	
保育士	*たんぼ組の担任	
保育士	*ちゅうりっぷ組の担任	
保育士	*もも組の担任	
保育士	*ひよこ組の担任	
保育士 看護師	*たまご組の担任	
保育士	1 園舎内外の掃除点検	2 共通遊具の整理、保存
保育士	1 保育材料に関すること 2 備品物品に関すること	3 図書管理
保育士	1 交通安全避難訓練に関すること	2 避難訓練に関すること
看護師	1 保健衛生に関すること 2 医薬品の整備・保管	3 健康診断及び歯科検診、ぎょう虫・尿検査に関する こと 4 検便に関すること
保育士	1 衛生推進に関すること	
保育士	1 食育に関すること	
保育士	1 延長保育促進事業に関すること	
保育士	1 障がい児保育に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備状況

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年月	工事名	金額（円）

(2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年月	物品名	金額（円）
H28・9・5	モノクロコピー複合機 bizhub-227	378,000
H29・3・30	園児管理ソフトサーバー用ノートPC	172,800
H29・3・30	園児管理ソフト	658,800

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

保育の質の向上を図るため、自らの行う保育について常に子どもの視点に立って自己評価を行なった。

○自己評価（個人）年2回に分けて行った。

※結果 反省内容として

- ・子どもたちの居心地の良い環境作りをする。
- ・保育士同士の連携に気を付ける。
- ・子どもの目線にたった保育に努める 等が上がった。

自己評価の反省を踏まえ、次年度の目標を立てるようにした。

(2) 保育課程等の自己評価

児童福祉施設最低基準第36条の趣旨を踏まえ、地域の実情や保育所の実態に照らしあわせ年度末に職員一人ひとりが保育課程を見直した。その後クラス単位で評価し直し最終的に施設長の責務のもと保育所全体への評価につなげた。

結果・保育目標「思いやりある人間観関係の中で情緒の安定を図る」に対して

子ども一人一人に対しての声のかけ方、対応の仕方はどうか等反省すべきところが未満児クラスに見られ、子どもの視点に立っての各自の保育の見直しを行った。

・地域との連携に対して

今年度行われた地域の行事「船祝い」に参加。造船と大漁のお祝いを和太鼓、よさこいの踊りで地域の方々と一緒になって行い、地域の子どもの役割を果たした。

地域の中学校吹奏楽部に来所して頂き、子どもたちに生の演奏を聴かせてもらおうと共に中学生との交流を行い、コミュニティーの一員として喜ばしく思った。

評価の結果をふまえ、当保育所の保育の内容の改善を図り平成29年度の保育課程に反映した。

8 職員の研修参加状況

年月日	研 修 会 名	参加者名
H28.4.19	食育研修会	
4.20	運動会実技研修会	
6.2	保育研修会 I	
6.21~22	保育所長研修会	
6.30	保育研修会 II	
8.1~2	夏期指導者研修会	
8.2	主任保育士研修会	
8.20~21	まことの保育研修会	
8.22~24	中堅保育士研修会	
10.22	給食担当者研修会	
10.28	看護師研修会	
11.28	保育研修会IV	
H29.2.9	事故予防研修会	
2.16	実技研修会 II	

法人内研修 公開保育研修参加

- 6.14 園内研修（針尾） 2歳児
- 7.13 園内研修（ルンビニ）1歳児
- 8.10 園内研修（日宇） 0歳児
- 10.17 園内研修（佐々神田）5歳児
- 11.17 園内研修（日宇） 4歳児
- 12.5 園内研修（楠栖） 3歳児

※今年度始めた福祉法人内の公開保育研修参加は、各園の地域性や、子どもの人数などの異なる環境の中行う保育を見る貴重な時間となった。また、意見交換や情報の交換を行うことにより、保育の向上、意識確認などとなり、さらには各園に持ち帰って報告を行う事によって、情報の共有、5カ園の連携に繋がった。

9 苦情処理受付状況

なし